

令和 2 年 第 4 回定例会 一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	関 口 正 博	1. 八雲町の将来の医療政策をどのように考えるか伺う	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、あらためて地域の医療提供体制の現状と、これからの医療政策について今まで以上に再考すべきと考え、次のことについて伺う。 ①八雲総合病院において、院内感染が発生した場合の対応は？ ②熊石国保病院建て替え事業を控え、感染症、災害を含め非常時を見据えた施設機能も必要では？ ③今後に向けては、八雲総合病院と熊石国保病院の連携強化、地域包括システムのさらなる充実と多職種連携強化を含め八雲町の将来の医療政策について今まで以上に再考すべきでは？	町 長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2	赤 井 睦 美	1. 今後の教員住宅のあり方は？ 2. 今後の漁業の行方は？	以前はへき地の学校にも教員住宅があり、どこに転勤になっても住宅には困らないよう配慮されていました。しかし、時代も変わり、今の八雲地域の状況を見ると、民間のアパートを利用したり、町外から通勤している教職員もいます。そうした状況もあってか、八雲地域では61戸ある教員住宅のうち、入居しているのは42戸（約69%）と聞いております。さらにもっとも古い住宅は、築53年が経過していて、誰も入居していないということです。 町が教員住宅を建設するときには、地方債を借り入れることができ、有利だと思いますが、メンテナンス等の維持費や、老朽化して解体が必要になった時の費用は持ち出しです。最近では、解体費も高くなり、今後、今ある教員住宅を解体していくとしたら、どれくらいの費用が必要になるのでしょうか？ 少子化が進み、学校の規模が小さくなり、職員数も減っていく中で、今後の教員住宅のあり方も考える必要があると思います。総合計画を見ると、熊石地域の解体計画は掲載されていますが、八雲地域に関しては何も触れられていません。今後の計画はどのようなになっているのでしょうか？ 何でもかんでも解体すべきとは思いませんが、年々解体費が高騰することも含めて、今後のあり方、考え方をお伺いします。 昨年度の全国の漁業生産は養殖を含め416万トンと過去最低に落ち込み、ピークだった1984年の3分の1という報告があります。政府はノルウェーなどの漁業先進国が取り組む厳格な管理を浸透させ、資源の管理と漁業生産の回復を目指すということで、『新漁業法』が12月1日から施行されました。 ポイントは、「資源管理が進んだ国アイスランドやニュージーランドなどでは漁業者（漁船）ごとに漁獲枠を決め、枠の過不足を取引することもできる。」という時代の流れが背景にあり、今回の法改正によって、国際標準の資源管理に近づける観点から、我が国の場合でも、漁船ごとに日々の漁獲高のデータを情報発信させるということですが、このことによって、八雲地域の漁業にどのような影響があるのでしょうか？ 一時は「戦後70年続いてきた漁業法と、代々受け継がれてきた生産現場をないがしろにする新漁業法に対して、都道府県独自の条例を制定することで対抗していく」という動きもあったそうですが、一方で、漁獲高も減少の一途で、就労者も高齢化しているということから、「沿岸漁業者が抱える問題解決のためにも、若者が安心して生活を送れる漁業にしていかなければならない。これを契機に漁村地域の特性を生かし	教 育 長 町 長

			た漁業の構築が進むことを願っている」という漁協の方のコメントも出ていました。 八雲町でも就業者の高齢化と後継者不足は、地域によっては喫緊の課題です。ホタテ養殖に不安を感じるから、今度はサーモンでという手段だけではなく、地域の特性（黒岩や東野のような特性）に合わせた対応をどのようにお考えでしょうか。	
--	--	--	---	--

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3	三 澤 公 雄	1. これまでのコロナ対策の検証とこれからのコロナ対応策は？ 2. 町のイメージを守るためにも！ 3. “人材の送出”から“人材の創出”へ	第3波の襲来が本格化しています。 これまでは八雲町も独自支援策などの追加をしてきましたが、それらの検証はどうなっていますか？また、この第3波への対応にはどの様なことを考えていますか？ いわゆる「核のゴミ」（原発から出る高レベル放射性廃棄物）の最終処分場選定に向けた「文献調査」が進められることとなりましたが、寿都町へいち早く抗議行動をとった岩村町長には敬意を表します。 その上で、更に考えをお聞きしたいのですが、NHKの北海道ローカル放送で独自調査をした！という特集の中で、八雲町近隣の森町、せたな町、乙部町が“核のゴミ”受入れの可能性を否定しない町としてカウントされていました。あくまでも可能性の話なのですが、この近隣町について町長はどの様に受け止め、どの様に考え、どの様な行動をとる可能性があるのか！？ 今だから聞きたいので、率直なお考えを述べていただきたい。 町長の考えている「産業振興」…すでに動き出しているもの、芽吹いたもの、種を蒔いているものと色々ありますが、全てにおいてその目指すゴールの鍵を握っているのは人材の集積だと思います。八雲町の魅力を高め、人材を呼び込み、人口減少の速度を緩やかにする。集まってきた人材の中から更に“八雲町の魅力づくり”に貢献できる人材を育ててゆく、そういった好循環を目指すものと受け止めています。 私は、この循環の中で“見落とししている”もしくは“加えるべき”と考えるのが未来の人材への着目です。これまでは小・中・高と卒業していった後の人材を、どうUターンさせるか！？が中心だったのではないのでしょうか？行政の取り組みの中で、小学生もしくは中学生のうちに“魅力ある町”をどう見せるか！？“感じてもらうか？”の視点が欠けていると感じています。 CS（コミュニティスクール）の取り組みも動き出していますが、上記のことがゴールになっているのでしょうか！？また、これらは学校教育だけの問題なのでしょうか？役場の各部署の施策・取り組みにおいて未来の町内人材を漫然と、ただ、送り出しているだけではなかったのでしょうか！？“産業振興”を進める為には同時に、自分の町から人材を新しく創り出す視点で行政の進め方を見直すべきではないのでしょうか！？	町 長 町 長 町 教 育 長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	佐 藤 智 子	1. 檜山エリア洋上風力発電事業の現況は？ 2. 介護事業所等で新型コロナの社会的検査を！ 3. 介護保険、デイケアの利用者負担増、解消できないか。	檜山エリア洋上風力発電事業は、せたなから上ノ国までの範囲であり、せたな町では昨年9月に事業者主催の住民説明会が行われた。 上ノ国町では電源開発（Jパワー）が海底地盤調査を開始したと7月4日付けの函館新聞が報道している。すでに八雲町長や檜山振興局長なども加わる檜山管内洋上風力連絡協議会が設置されており、7月30日には担当課長による幹事会も開催された。 9月15日に開催した総務経済常任委員会でこれまでの経過について報告されているが、その後の状況について伺う。 厚生労働省によれば、全国の医療機関での院内感染は386件、福祉施設（高齢者・障がい・児童）での施設内感染は452件で合計838件（11月24日時点）に達している。いまや、クラスターの中心は医療機関と介護・福祉施設である。ここでの集団感染を防ぐことは重症・死亡事例の発生をおさえることに直結する。東京都の世田谷区や千代田区、神戸市などでは、高齢者施設等への「社会的検査」が始まっている。 「社会的検査」とは、医療機関、介護、福祉施設、保育園、幼稚園、学校、学童保育所など、クラスターが発生すれば多大な影響が出る施設等で定期的なPCR検査を行うことである。無症状で陽性の者が他に感染させないためにも必要な手立てであると考える。 今は、国2分の1、自治体2分の1の経費配分のため、ためらう面もあると思うが、全額国費負担を求めつつ、当町も先行して、検査を行うべきではないか。 新型コロナの影響で介護事業所の経営が悪化している。それを支えるための特例措置が今年6月、厚生労働省から出された。通所介護（デイサービス）や通所リハビリ（デイケア）などで、実際の利用時間に加算分の時間が上乘せされ、本人と家族が同意すれば、その分が利用者本人の負担となるしくみだ。 八雲町内では、デイサービスを行っている施設では、利用者負担が無いが、デイケア施設では本人負担が生じている。同じ町内で介護を受けている者が、施設によって待遇が異なるのは不公平ではないか。 施設によって事情が異なるのは、やむを得ないが、利用者の公平性を保つために町が特例措置として利用者が負担する上乘せ分を補てんすることはできないか。	町 長 町 長 町 長

		4. 精神障がい、発達障がいを持つ人が働ける町に！	精神、発達に障がいを持つ人の働き先が、町内にはわずかしかないのが現状だと思う。静岡県では一人ひとりの特性に合わせて、苦手なことや、手助けすればできることなどを当事者と仲介者と事業所側で共有できるようになっている。 先進地に学んで精神や発達面で障がいのある人でも働ける町にしていきたい。町長の考えを伺う。	町	長
		5. 救急搬送業務に従事する職員にもPCR 検査と慰労金を。	国の新型コロナ感染症対策として病院関係者や清掃業務にあたる方たちに一人 20 万円の慰労金が予算化された。しかし、その方たちだけでは不十分だと考える。最前線で病人に接する救急搬送業務に従事する職種の皆さんは、リスクにさらされる危険度が高い。なぜなら、患者の中にはコロナ陽性者が含まれる可能性があるからである。 彼らにも定期的な PCR 検査と病院関係者並みの慰労金があって、しかるべきだと思うが、どうか。	町	長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	横 田 喜 世 志	1. 新型コロナウイルス禍での八雲総合病院の現状は	新型コロナウイルス感染者の波が1波、2波、3波と山が大きくなって押し寄せている中、感染病床を持つ総合病院の現状を伺う。 ①新型コロナ患者への対応について、軽症・中等症患者を最大何人受け入れられるのか。保健所の管轄であるが函館では軽症患者のホテル滞在が進んでいる。八雲では町内で滞在することが有りうるのか。 ②インフルエンザワクチン接種希望者への対応について、ある医院は新規受診者は遠慮していただく、一方では先着順・予約順となっていた。ニュースではワクチンの増産予定が無い様だが、希望する町民が全て接種できる見通しはあるか。 ③発熱による受診者への対応について、新型コロナ、インフルエンザ検査を行っていると考えますが、これらの発生数等、状況はどうか。 ④感染病床を持つ病院として基礎疾患患者の受診控えなどは無いのだろうか。	町 長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
6	宮 本 雅 晴	1. 街路灯設置による環境改善について	道道八雲北桧山線（出雲通線）の旧国立病院機構八雲病院前から町道大新線に接続するまでの間は街路灯の設置数が少なく、八雲病院の機能移転に伴ってその周辺は更に暗さが増しています。 また、町道大新線との接続点から大新スポーツ公園までの約1キロメートルの間については、街路灯が設置されていない状況です。 これらの区間では、健康管理のため町民が早朝や夜間にウォーキングをしたり、また、大新スポーツ公園では、5月頃から10月頃までは陸上やサッカーの練習を行っている少年団があり、日没に練習を終えて街路灯がない区間を帰宅しています。 このような実態から安心・安全な町づくりの観点で、次のことについて伺う。 ①道道八雲北桧山線（出雲通線）は北海道が管理する道路ではありますが、北海道に対して街路灯の増設を要望した経緯があるか。また、北海道が増設できないとした場合は、町として増設する方法はあるか。 ②町道大新線との接続点から大新スポーツ公園までの区間について、ウォーキングや大新スポーツ公園の利用者の安全を考慮し、街路灯を設置する考えはあるか。	町 長